

重要文化財「山水図」(拙宗筆)の保存修復事業レポート ①

2024年月6月に修復事業を開始した重要文化財「山水図」(拙宗筆)について、進捗状況をご報告します。



▲修理前現状



◀ 損傷部分 1

①修理前の作品です。本紙全体に細かい横折れが多数発生している状態です。一部横折れから亀裂が生じています。



◀ 損傷部分 2

②掛軸装から本紙が解体されています。本紙の一番背面にあたる総裏紙の除去後、本紙裏面のみに裏打ち及び、折れ伏せ等の補強が施され、再度総裏打ちが行われたことが確認できました。

2



▲解体作業1



▲解体作業2

③こちらは作品の損傷状況を色付けしたものです。

- ピンク色……補紙が確認でき、補彩等の着色が見られる部分
- 朱色……肌紙、及び折れ伏せ紙に着色等が、見られる部分
- 黄色……補紙が確認でき、墨色等の着色が見られる部分
- 水色(ドット)……本紙料紙の摩滅損傷等により、本紙及び、肌裏紙等が同化しており、境界線が明確ではない部分
- 黄緑色……本紙料紙表面よりあてられた料紙に近似した補紙

現状の作品に施されている補紙に本紙と境界線が曖昧な補紙が確認されました。水を吸い取りやすい紙を本紙の下にひいて、汚れを下に吸わせる浄水でのクリーニングを行い、捕紙として認識できている部分と墨色が施されている補紙の部分が明確になりました。

図柄への影響を考慮し、損傷部分2の★の補紙は残置し、それ以外の補紙の部分(ピンク色・黄色)は除去して新たに補紙を施すことに決定しました。



▲旧修理で行われた補強用裏打ち及び折れ伏せ



▲修理前現状

本作品は2024年4月から住友財団の文化財保存修復事業助成を受けて、本格的な修理に着手しています。完成は2027年3月を予定しておりますので、続報をお待ちください。